



笑顔



「豊かな心」を育んで

昨年からのコロナ禍の中、「学校に求められていることとは何だろう」ということをよく考えます。子供たちが学校に来て、教室に集い、同じ空気を共有し、共に学び、共に遊び、共に語り合う。時には対立の中で友達の痛みを知り、自分以外の人との関係を調整することを学んでいく。これらは、子供たちの成長に欠かすことはできない学びであり、学校でしかできないことではないかと考えています。

そんな学校生活の中で、子供たちの「豊かな心」を育んでいきたいと、強く思うこの頃です。

今まで取り組んできた実践を、いくつか紹介します。

(1)スマイルキャンペーン

友達に親切にして、笑顔にできたら1スマイル獲得できるというものです。児童会の児童が計画し実践しています。

親切にすることの気持ちよさに気づき、思いやりの心を育てたいと考えています。年4回計画しました。11月に3回目を行いました。2回目よりもスマイルが増えたクラスが、たくさんありました。3学期に4回目を行う予定です。



(2)ハートキャンペーン

これも、児童会の活動です。親切にしてくれた友達に、「うれしかったよ」のメッセージをハートカードに書き、模造紙に貼って、廊下に掲示しています。木崎小が笑顔に包まれて欲しいと願っています。これから、2回目を行う予定です。1学期に行ったものが校内に掲示しており、優しさがあふれた学校になっています。



(3)人権集中学習

30号でもお知らせしましたが、人権集中学習を行いました。校長の人権講話から始まり、学級での計画的な学習、児童による感想の発表(12月1日「人権集会」にて)等を行いました。児童の感想には、「相手を思うこと」「みんなが つながること」「ゆずりあうこと」「味方になること」「見過ごさないこと」等、指導者が子供たちに伝えたい内容がたくさん含まれていました。児童の声で、言葉で、大切なことを伝えてもらいました。

学年	組	感想発表学年代表者
1	2	
2	2	
3	3	
4	2	
5	1	
6	1	

私たち教員も、子供たちが自分で考え、自分事となるような良い授業を目指して、研修を行っています。道徳科では、道徳推進教員である野村先生の授業を見合い、指導力向上を全員で図りました。



(4) ウェルカムボードの作成

夏休み明け、元気いっぱい子供たちと2学期がスタートできるように、心を込めて全クラスでウェルカムボードを作成しました。

不安だった子どもの気持ちをホッと安心させることもできたかなと思っています。



(5) 読書週間

読書することの魅力はたくさんありますが、出会ったことのない様々な人の考え方を短時間で知ることができるのは、読書の大きな魅力のひとつです。本の中で疑似体験をしたり、読後の感想を友達と語り合ったり、読書は、子供たちの「豊かな心」を育てていくと考えます。

今年度も、10日間の読書週間を設けました。図書委員が低学年に読み聞かせをしたり、「読書週間チャレンジカード」を作成したりしました。期間中、毎日図書室は大盛況。読書量が増えた児童が多くいました。



お知らせ

太田市選挙管理委員会事務局より、「衆議院議員総選挙時に配布した鉛筆（さよならコロナ）を、小学校1～3年生の児童に1本ずつ配布しますのでご活用ください。」と申出がありましたので、12月10日（金）に配布いたします。

（学校で使用する場合、鉛筆とキャップに、必ず名前を書いてください。）